



コンベンション色々 (1) = Last Train =

2019.2.15

コンベンションは今や多くのものが発明されて、さらに年々新しいものが工夫されています。多くの一般の人が使っているものもあれば、世界的に見て使われてはいてもまだ日本では使われていないか、使われていても数少ない人だけにとどまっているものもあります。それらの中から私が見て有効そうなものを紹介してみましょう：

Last Train (あるいは Last Train・キュービッド) というものがあります。これはアメリカの Meckstroth が工夫したコンベンションです。

♠ QJ954

♥ J54

♦ 1054

♣ A3

を持っていて、パートナーが 1 C とオープンし、こちらの 1 S レスポンスにスプリンターでのサポート、例えば

1 C - 1 S

4 D - ?

となったとしましょう。オープナーが

- | | | | | | |
|---|---------|---|----------|---|----------|
| ① | ♠ AK106 | ② | ♠ A1063 | ③ | ♠ AK106 |
| | ♥ AQ8 | | ♥ AQ10 | | ♥ AQ10 |
| | ♦ 3 | | ♦ A | | ♦ 3 |
| | ♣ KQJ96 | | ♣ KJ1098 | | ♣ KJ1098 |

①ならばスラムは取り切りのメークですが、②や③ならばスラム確実とはいえません。

いずれも 3 キーカード持っていますからレスポナーが 4 NT キーカードアスクしても同じ答えになり、何ら解決にならないのです。また 4 S と言えばサインオフですから終わってしまいます。このようなときに 4 H とビッドします。これはハートにコントロールがあるという意味ではなく、サインオフではないがキーカードアスクするほどではないというウェイティングビッドになります。オープナーは、①ではレスポナーの 4 H には 6 S、②と③では 4 S とビッドします。

Meckstroth のレギュラーパートナーである Rodwell が書いた本 "Bidding Topics", Baron Barclay Bridge Supply, 2017 には Last Train の解説があり：

ラストトレインとは、ゲームフォーシングがかかっている中でメジャーがはっきりと合意したとき、スペードトランプでは 4 H、ハートトランプでは 4 D がラストトレインである。意味はサインオフするようなハンドではないが、キーカードアスクするようなハンド

もないという意味になる

と書かれています。今までですと、これら 4 H や 4 D はキュービッドでコントロールを示していたのですが、トランプのすぐ下の 4 レベルのストビッドはコントロールを示すのではなくただウェイティングでスラムの余地があることを示しているだけなのです。

2 / 1 G F システムを使っていて

1 H - 2 D

2 H - 3 H

3 S - 4 C

?

と進んだときに、オープナーがダイヤモンドにはコントロールがない、しかしまだスラムはあきらめていないとするとなんとビッドしたらよいのでしょうか？つまりレスポナーの方にダイヤモンドのコントロールがあればスラムに行きたいと考えているときどうすればよいのでしょうか？今までは 4 H と言っていました。レスポナーの方のアクションを待つのが 4 H だったのですが、これはサインオフと区別が付きにくくレスポナーがダイヤモンドのコントロールがあるのでさらなるアクションを起こして 5 レベルまで行っているのかどうか判断が難しくなっていました。しかしこの時にラストトレインを使うとアクションを起こして大丈夫という判断が付きやすくなってきます (もちろんラストトレインストにコントロールがあった上でのことです)。

ラストトレインされたあとは、トランプをただ 4 レベルでいえばスラムには弱すぎて自分からは行くつもりなしという意味になりますし、さらにキュービッドを続ければスラムトライです。さっきの例でいえば

1 H - 2 D

2 H - 3 H

3 S - 4 C

4 D - 4 S

はダイヤモンドのコントロールとスペードのコントロールの 2 つを示しています。たとえば次のようなハンドが向かい合っている時です。このあとは

- | | | |
|---------|-----------|------------|
| ♠ K84 | ♠ AJ | 4 NT - 5 H |
| ♥ AQJ86 | ♥ K109 | 6 H |
| ♦ Q64 | ♦ KJ10952 | と進んでゆきます。 |
| ♣ A9 | ♣ K6 | |

なお 3 S も 4 C もキュービッドですが、いずれもキングをキュービッドしています。これはエースもキングも同等に扱っていて、同じようにキュービッドします。イタリア式キュービッドとも呼ばれています。別な機会にもっと詳しく解説する予定です。